

# Kiho

広報きほう

Public Relations Kiho 2015 vol.111

4月号



特集

郷土の偉人

血液型学の国際的大家

ふるはた

たねもと

医学博士

# 古畑種基

文化勲章受章時、皇居にて（昭和31年）

世界的な法医学者としての確固たる地位を築いた

# 古畑種基

ふるはた たねもと



## Profile

紀宝町平尾井出身。日本の法医学の草分けの一人である。ABO式血液型の研究に多大な功績を残す。また、Q式血液型など新血液形質を発見したほか、指紋学や親子選別など広範囲で業績をあげた。法医学分野では、多数の司法解剖を手掛け、犯罪捜査の発展に寄与した。

法医学・血清学の権威で数々の業績を挙げ、戦後の難事件といわれた下山事件で活躍。晩年は、日本の科学警察力の牽引役を果たした古畑種基の素顔とは

紀宝町平尾井出身で血液型学の国際的大家である古畑種基博士をご存知でしょうか。今月号では、郷土の偉人として、古畑種基博士が歩んできた歴史について、ご紹介したいと思います。

## 幼少期〜海外留学

古畑種基博士は、古畑虎之助・寿の次男として、明治24年6月15日、紀宝町平尾井に生まれました。

父虎之助は、平尾井で40年余りの長期にわたり、内科・婦人科・小児科医として村人たちに重宝として敬愛され、母寿は、和歌山市出身で、心やさしい方で、村人から慈母のように慕われていました。

種基は、明治30年4月、平尾井にあった明成尋常小学校に入学し、明治33年に和歌山市の広瀬尋常高等小学校に転校しました。当時、近辺には旧制中学校の入学資格がもらえる高等小学校は新宮にしかなく、新宮に下宿させるのなら、和歌山市の叔父桑原虎太郎のところへに寄留させた方が上級学校進学に都合だとの父虎之助の考えによるものだと思われています。

明治37年には和歌山県立和歌山中学校に入学し、卒業後は、京都の第三高等学校の三部（医学進学コース、現京都大学）に入学。明治45年、三高を卒業し、東京帝国大学医学部に進学しました。大学時代、開業医になろうか、

大学に残って研究するか、進路について迷い悩んでいたようです。若い種基にとって開業医として父の跡を継いで、村人や郷土のために尽くすという使命感はあったものの、大学に残って勉強を続けたいという願望はさらに強くあり、そんな折、友人の勧めによる法医学の三田定則教授との出会いが、学究の道を選ぶことを決定づけました。

東京帝国大学卒業後、医学部の助手に任命され、大正6年に大槻式大阪薬学専門学校長の長女芳と結婚しました。

このころ、全国の医学校の水準を高めるため、医学者を独・英・米に留学させる制度が設けられており、種基は、ドイツ留学を命ぜられました。法医学の三田教授や病理学の緒方知三郎教授に紹介状をもらって、ケルン大学のアルベルト・デーリリッヒ先生に教える乞うはずでしたが、日本は第一次世界大戦でドイツの敵国だったことを理由に断られ、ベルリン大学の実験病理学のピツケル先生やウィルヘルム・ツェーレン先生の法医学に関わる指導を受けました。

後年、この時の研究が種基の難事件の鑑定に大変役立つといわれています。



1. 少年期の種基（写真左）。右は姉の俊子。2. 種基の両親。右は父の虎之助（77歳）。左は母の寿（69歳）。



3. 東京帝国大学時代の種基。入学当時（明治45年）。  
4. ベルリン留学時代の種基。教授陣と日本人留学生たち。種基は一番右（大正11年）。

## 数々の業績

満2年の留学を終えて帰国後、大正13年、金沢医科大学教授に迎えられ、法医学教室を初めて作り、教室を基礎法医学と応用医学部に大別し、血液型の研究を大いに進めました。

このころ、裁判所から親子鑑定依頼を受けたことが始まりで、種基はここで血液型の遺伝法則に着眼しました。その結果、親一人にA B型がある場合は、O型の子を産まないということが発見しました。遺伝因子の分け方など相当深い理論問題があり、従来O型、A型、B型、A B型の4種類とされてきた血液型が、無数の血液型に分けられることの発端になったようです。

これを、日本学術協会で発表しましたが、従来の常識を破るこの新説はすんなりとは受け入れられませんでした。しかし、昭和2年オランダのアムステルダムで開かれた第3回国際人類学会とベルリンの第5回国際遺伝学会で、この新説は多大な反響を得て、調査方法の確実などが裏づけとなり、新説が正しいことが認められました。

## 4種類とされてきた血液型が無数の血液型に分けられる可能性を発見

って発見された事件では、種基の指導のもと解剖が行われ、種基らが出した報告に理不尽な攻撃もありましたが、種基は科学的判断を曲げようとはしませんでした。

昭和25年3月、岩手県平泉町の中尊寺に祀られている藤原四代（清衡・基衡・秀衡・忠衡）のミイラの調査が行われ、その学術調査団に加わり、エジプトのミイラのように薬剤を使った形跡がないことを確かめ、血液型・指紋の検出に成功し、藤原氏がアイヌ民族の系統でないことも明らかにしました。



「血液型因子の人口に及ぼす遺伝的影響」について研究発表を行うなど、世界的な法医学者としての確固たる地位を築いていきました。

昭和31年には文化勲章を受章し、昭和35年に科学警察研究所長となり後進の指導にあたり、昭和45年には勲一等瑞宝章を受章しています。

昭和11年、金沢医科大から東京大学教授に就任。昭和15年には、ドイツ自然科学学士院会員に推薦されたほか、各国の学会、委員会のメンバーとして名をつらね、国際的な舞台での華々しい活躍が広がりました。昭和18年には帝国学士院より恩賜賞、昭和21年には野間学術賞などを受賞し、「世界の古畑」として一躍脚光を浴びるようになりました。

血液型の研究を進める上で大変だったのは、採血でした。種基は人々に「悪い病気にかかってしまう」などと敬遠され、ついには、「古畑は血採りマナコで歩いている」など、まるで吸血鬼かのような評判がたつ始末でした。

こういった想像を絶する苦勞を重ねた結果、当初4種類だけだった血液型は、現在では、理論的には、59億にも分けられるにいたりました。なお、この研究により、従来不可能とされていた親子の鑑別を可能とし、血液の個人識別によって犯罪捜査上有力な指針をあたえることになったとされます。

昭和24年7月、初代国鉄総裁の下山定則が常磐線綾瀬駅付近で轢死体とな

## 人となり

種基は正義感が強く、意志強固で世間の風評に惑わされることなく、学問に精進しました。人情味豊かな人で、昭和20年7月、長男定基（海軍航空大尉）を戦争で亡くした際、一人で悲しみに耐え、愚痴をこぼして家族につらい思いをさせまいと、その後も口に出すことがなかったといわれています。

多くの人から愛され、慕われていた種基は、思い立ったらすぐ実行に移し、最善を尽くす、その学問への情熱は終生変わることはありませんでした。



古畑種基の生涯

明治24年	(1891)
30年	(1897)
33年	(1900)
37年	(1904)
42年	(1909)
45年	(1912)
大正6年	(1917)
11年	(1922)
13年	(1924)
14年	(1925)
昭和2年	(1927)
11年	(1936)
15年	(1940)
18年	(1943)

21年	(1946)
22年	(1947)
24年	(1949)
25年	(1950)
27年	(1952)
28年	(1953)
29年	(1954)
31年	(1956)
35年	(1960)
45年	(1970)
50年	(1975)



1. 東大教授時代の種基。藤原四代遺体の血液型や指紋、歯などを調査する。2. 成川の龍光寺の門柱には、種基が書いた永平寺の開祖元禅師の詩「濁りなき心の水にすむ月は波もくたけて光とぞなる」が刻まれている。

6月15日、紀宝町平尾井で生まれる  
相野谷明成尋常小学校入学（現相野谷小学校）  
和歌山市広瀬尋常小学校へ転校  
和歌山県立中学校入学（現桐蔭高校）  
第三高等学校入学  
東京帝国大学（医科）入学  
東京帝国大学医学部助手  
ドイツ、ベルリン大学留学  
金沢医科大学教授  
同大に法医学教室開設  
第一回日本学術協会総会で血液型に関する新説発表  
第三回国際人類学会（於アムステルダム）  
第五回国際遺伝学会（於ベルリン）で遺伝学説を発表  
東京大学教授、法医学教室主任  
ドイツ自然科学学士院会員  
帝国学士院恩賜賞授与

野間学術賞受賞  
日本学士院会員  
「下山事件」で、死後轢断と鑑定  
「藤原ミイラ調査」において指紋、血液型の検出に成功  
東京大学教授退官  
東京医科歯科大学教授  
日本犯罪学会長  
東京医科歯科大学 医学部長  
第1回世界人口会議（於ローマ）、第5回輸血学会（於パリ）、第5回国際血液学会（於パリ）に各々日本代表として出席し、「血液型因子の人口に及ぼす遺伝的影響」について研究発表  
文化勲章受章  
日本人類遺伝学会長  
東京医科歯科大学退任  
科学警察研究所長就任  
勲一等瑞宝章受章  
5月6日、83歳で死亡  
勲一等旭日大綬章 正三位に叙さる



3. 種基著の「法医学の話」（昭和33年、岩波新書）。4. 科学警察研究所長時代の種基。昭和天皇の行幸をお迎えして研究所の概要をご説明する（昭和43年）。5. 文化勲章受章記念碑（平尾井）。6. ふるさと資料館には種基のコーナーが設けられている。

参考文献：  
『紀宝町誌』（紀宝町）  
『郷土の偉人 古畑種基博士』（相野谷公民館）  
『古畑種基博士と龍光寺の門柱』（津沢豊志）



3月定例会で所信表明する西田町長

平成27年度 所信表明

# 未来に向けて 新たなまちづくりを

## 町政の基本方針と 施策の大綱

### ◆地方創生

昨年12月27日に地方創生関係である「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、平成27年度から5か年の目標や施策の基本的な方向を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がとりまとめられ、閣議決定されました。

長期ビジョンは、人口減少の歯止めと、東京一極集中の是正により、2060年（平成72年）に1億人程度の人口を確保し、2050年代（平成62年代）に実質GDP成長率を1.5から2パーセント程度維持することを掲げており、総合戦略では、「自立性」「将来性」「地域性」「直接性」「結果重視」の政策5原則のもと、「地方における安定的な雇用を創出する」「地方への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という4つの基本目標を設定しております。

これを受けて、紀宝町においても平成27年度中には、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を作成し、これまでの人口動態か

成18年1月10日、(旧)紀宝町と(旧)鶴殿村が合併し、(新)紀宝町が発足しました。

それまで、それぞれの町、村において、先人の方々の心血を注いだ懸命のご努力により、特色を生かした魅力ある、すばらしい「まちづくり」が展開されてまいりました。そして合併後は、「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現を目指して、新たな「まちづくり」が進められてまいりました。

平成28年は、(新)紀宝町が誕生して10周年となるため、1月10日に、「町制施行10周年記念式典」を、生涯学習センターまなびの郷において挙行させていただきました。多くの町民の皆様がたと、共に祝い、共に未来に向けての、まちづくりを推進していく機運を高めてまいりたいと考えております。

ら将来予測を行うなかで、町としての今後のあり方の目標を設定して実践していくこととしております。

紀宝町の地方創生に対する推進体制といたしましては、2月2日に、私や、教育長、特別参加をはじめ理事や課長級からなる「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部」を設置いたしました。

地方版総合戦略の策定・実施にあたりましては、住民代表に加え、産業界、学校、金融機関、労働団体が連携し効果的な施策が実施されることを求められておりますため、今後は、各界の代表者にも参画いただくため、仮称となりますが「紀宝町地方創生会議」の設置も行ってまいりたいと考えております。

また、同じく昨年12月27日には、緊急経済対策として、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が閣議決定されました。

この交付金には2種類あり、一つは「消費喚起・生活支援型」、もう一つは、「地方創生先行型」といわれるものであります。

消費喚起・生活支援型につきましては、町内の消費喚起を図るために、例えば、1万円で数千円のプレミアムが付加される「プレミアム付商品券」や、子育て世代の支援策も盛り込んだ商品券を発行し、町内消費を促してまいりたいと考えております。

地方創生先行型につきましては、今後策定する、地方版総合戦略の先行の実施に対する支援の交付金でありますため、地方人口ビジョンや地方版総合戦略の策定に係る経費、及び地方版総合戦略の趣旨に添った施策を展開していくための財源とし、町外から移住を行うかたを対象に、空き家の改修に要する費用について補助する「空き家改修補助事業」や、木造住宅を新築する際に、町内施工業者及び地元産材を利用した場合に補助を行う、「木造住宅建設促進対策事業」等を実施してまいりたいと考えております。

今後、スピード感をもって、町の人口ビジョン及び総合戦略の策定に向け準備を進め、町の将来の姿や方向性、平成27年度を初年度とする今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策を皆様のご意見を拝聴しながらまとめてまいります。

### ◆新宮紀宝道路

熊野川河口大橋を含む「一般国道42号 新宮紀宝道路」につきましては、長年の粘り強い要望活動が実を結び、平成25年5月15日に新規事業化が決定され、地域の悲願である「熊野川河口大橋の建設」が実現する運びとなり、大変うれしく思っております。

また、町村合併時に、新紀宝町のまちづくりを総合的かつ効果的に進めることを目的として、新町まちづくり計画（建設計画）を策定しております。この新町まちづくり計画は、平成17年度から平成27年度までの概ね10年間を計画期間として策定しており、市町村合併特例法第5条に定められた「市町村建設計画」であり、この計画により、合併特例債などの国の財政支援を受けるための基礎となるものであります。

平成24年6月27日、「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、被災市町村以外の合併市町村につきましても、合併特例債を起すことのできる期間が、合併後10年間から15年間へと5年間延長できることになりました。

本町では、今後も引き続き、合併効果を高めるために必要な建設事業などを進めていくにあたり、国の財政支援を受けて安定した財源を確保しながら、健全な財政運用を図ってまいりたいことから、新町まちづくり計画の計画期間及び財政計画などを変更し、新たに平成28年度から平成32年度までの5年間の延長を行ってまいりたいと考えております。

熊野川河口大橋は、災害時における救援や復興などの防災面、医療、産業、観光など、私たちの地域にとっては、まさに「命の橋」であります。

新規事業化されたことに伴いまして、新宮紀宝道路の事業概要や今後の事業の進め方等につきまして、住民説明会を平成25年度、及び平成26年度にそれぞれ2回開催させていただきました。この間、事業主体である国土交通省紀南河川国道事務所では、地権者の皆様のご協力を賜りながら、地質調査や測量調査、現地調査を進めていただいております。

平成26年6月に開催された住民説明会で提示されました、計画平面図面につきましては、7月19日から8月20日まで役場にて公開させていただき、住民の皆様にご覧いただいたなかで、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。その際にいただきましたご意見・ご要望や地元からの要望、これまでにいただいております皆様からの声につきまして、すべて紀南河川国道事務所に届けさせていただきます。

また、11月21日には、鶴殿区3組の役員の皆様と紀南河川国道事務所、紀宝町との意見交換会を実施させていただきます。

現在、紀南河川国道事務所では、予備設計を実施していると同っておりますこと、町といたしましては、地元住民の皆様方から道路や排

水、用水などの機能回復についての意見を拝聴させていただき、住民の皆様の声を届けてまいりたいと考えております。

町といたしましては、今後も住民の皆様のご意見を拝聴しながら、実施主体であります国土交通省など関係機関との連絡を密にし、早期着工・早期完成を目指し、新宮紀宝道路がよりよいものとなりますよう、引き続き、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、新宮紀宝道路関係事務につきましては、企画調整課及び産業建設課が中心になって推進しておりますが、庁内の連携をさらに強めるため、本年4月から「高速道路推進プロジェクト」を設置して、新宮紀宝道路等の推進やミッシングリンク区間の解消などをより強固に図ってまいります。

### 防災関係

防災関係につきましては、「人の命が一番」の理念を大きく掲げ、紀伊半島大水害から得た教訓を活かしながら、発生する確率が年々高くなっております。南海トラフを震源とする巨大地震への備えとして、ハード、ソフト両面での防災対策

に取り組んでおり、発災時に災害対応が滞ることなく、スムーズな対応ができるよう、飲料水の確保、緊急車両や災害対応車両の燃料の確保など、さまざまなハード面での取り組みを進めてまいりました。

また、ソフト面では、地区自主防災組織と協力しながら、各地域に定めた避難訓練や、三重県が取り組んでおります、「一人ひとりの避難行動計画である「マイまっぶらん」づくりなどを行い、発災時には、「自分の命は自分で守る」を基本に、「自助」「共助」においても、スムーズに災害対応ができる地域づくりに取り組んでまいりました。

平成27年度におきましても、消防施設等の整備や、防災資機材の充実を図るとともに、町民の皆様の安全と安心に資するため、さらなる防災力の向上を目指して、人の命を守る防災・減災活動に取り組んでまいります。

まず、台風等の風水害に備えた「紀宝町事前防災行動計画（タイムライン）」についてでございますが、平成25年度から策定に着手し、昨年本町に襲来いたしました



成川に設置された飲料水兼用耐震性貯水槽



タイムラインの連携に関する協定を締結

た、いくつかの台風時においては、消防団、民生委員、町民の皆様など、町内外の防災関係機関等のご協力を賜り、試行を行いながら見直しを行ってまいりました。

また、行動計画の試行時にご協力をいただいております。河川管理者からの河川水位予測や、気象台からの雨量予測、道路管理者からの道路情報等についての情報提供や情報共有、また専門的見地からのご助言も引き続き行っていただけるよう、「紀宝町における台風等風水害における事前防災行動計画の連携に関する協定」を、2月21日の防災フォーラムinきほうの開会前に、関係各位の深いご理解のもと締結させていただきました。

このことにより、全国の市町村では初めての事前防災行動計画（タイムライン）の策定が完了し、運用できる運びとなりましたため、本年の

## 平成27年度 施政方針 KIHOTOWN

等の納付につきましては、口座振替をしている方を除きますと、町の指定金融機関や、役場では納付時間が限られている状況でしたが、平成26年度からは、納付者の方々の利便性を考え、休日や夜間でも納付ができる、コンビニエンスストアでの収納を開始させていただいたところ、多くの方々にご利用をいただいている状況でございます。納付していただけるのは、町税のほか、保育料、水道料です。

### 子育て支援施策

子育て支援施策につきましては「安心して子どもを産み育てられるまちづくり」の実現を目指して、引き続き尽力してまいります。保育サービスの充実でございますが、0歳児保育につきましては、平成27年度から、町内飯盛保育所において実施をしております。また、学童保育事業、遊び場開放事業についても、子どもたちが安心して利用できるよう、さらなる充実に努めてまいります。

ファミリーサポートセンター事業につきましては、サポート会員の増員に努めながら支援体制の輪を広げてまいります。子育て支援センターで活動している、自主活

### 高齢者福祉施策

高齢者福祉施策につきましては、多様な課題を解決していくために、地域力を高めながら、「いつまでも地域で暮らせる、元気と生きがいを育むまちづくり」の実現に向け取り組んでまいります。高齢者を悪質商法などから守るために結成された「高齢者地域見守り隊」や、生活介護支援サポーター「てまりの会」などの、地域資源の充実、育成を図ります。

社会福祉協議会、民生委員、老人クラブやシルバー人材センターなどと連携し、地域での支え合い体制を構築してまいります。また、買い物困難者の解消に向け、福祉の店「アプローチ」を拠点に実施しております。宅配・移動販売事業等についても、必要な支援を実施してまいります。

### 石川県中能登町

石川県中能登町とは、平成24年11月に「災害時相互応援協定」、平成25年12月には「姉妹町提携」を結び、平成27年度におきましても、引き続き交流を推進してまいります。

商工関係におきましては、紀宝町商工会及び紀宝ウミガメ物産振興組合が主体となって、中能登町の

### 豆蔵のコンビニ収納開始

コンビニエンスストアでの町税

### ◆包括的支援事業

包括的支援事業につきましては、認知症サポーターの養成や、一人暮らし高齢者等の実態把握と訪問活動、高齢者虐待や成年後見制度等の権利擁護事業の推進、在宅医療や介護の推進に向けた多職種連携と住民啓発事業など、高齢者の総合相談支援窓口としての機能を充実させてまいります。

また、避難行動要支援者の避難支援等を実施するための基礎となる、「避難行動要支援者名簿」を活用した、地域での支援体制の整備、福祉避難所の整備、名簿内容の充実化等について、関係機関と連携しながら進めてまいりたいと考えております。

### ◆介護予防事業

介護予防事業につきましては、認知症予防事業の重点事業として、平成27年度からは、デイサービス利用者の方々の協力を得て、中等度認知症の方を対象に、「音楽体操「まちかどエクササイズ」」が、認知症の改善や進行抑制に有効であるかの検証について、三重大学、ヤマハ音楽振興会との共同事業として実施してまいります。

関節疾患や筋力低下により、要介護認定を受けるかたの人数が減少す

全身の健康につながる歯と口腔の健康づくりは、「歯科保健プロジェクト会議」において検討推進して、横断的な健康づくりに取り組み、いつまでも自分の歯でおいしく食事ができ、生涯にわたる生活の質の向上を図ってまいります。

### ◆母子保健事業

母子保健事業につきましては、従来から行っております、妊婦健康診査の助成、乳幼児健診、ハイリスク児の早期発見と早期対応に努め、家庭や地域、医療、保育所、幼稚園、学校などが、横断的・縦断的連携を行い、切れ目のない母子保健サービスの充実を図ってまいります。

さらに、平成27年度からの新事業といたしましては、「産後ケア」の充実として、産後に希望する親子が、県、町からの負担金と自己負担により、委託専門医療機関において、宿泊型、通所型、訪問型により、相談指導が受けられるよう環境を整えてまいります。なお、宿泊型の産後ケア事業につきましては、近隣市町に先駆けて推進してまいります。

また、感染により重症化しやすい小児におきまして、任意予防接種として、「ロタウイルス

るよう、未実施地区の老人クラブの会員の皆様に、協力の呼びかけを行い、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防についての普及啓発と、現在各地区で行っている貯筋運動や健康運動教室に、ロコモトレニングを取り入れながら、予防を行ってまいります。



介護予防事業（健康運動教室）

### ◆給付金事業

所得の低いかたへの負担軽減や、子育て世帯への消費の下支えを図ることを目的とした、「臨時福祉給付金」、及び「子育て世帯臨時特例給

付金」の支給については、概算となりませんが、臨時福祉給付金対象者が3100人、子育て世帯臨時特例給付金対象者が1517人、合わせて4617人となり、支給総額は、2315万1千円を見込んでおります。

### ◆相野谷診療所

相野谷診療所につきましては、事業所検診や生活習慣病予防検診、がん検診などの各種検診業務について、引き続き行政・関係機関と連携をとりながら、事業を行ってまいります。

また、地域医療につきましては、包括的に行政や関係機関と連携を取りながら、地域の実情に合わせて、地域ニーズを把握しつつ、訪問診療や訪問看護など、地域医療の推進を図ってまいりたいと考えております。

### ◆農業振興関連

農業振興関連につきましては、昨年度から、議論が続いており、まず農協改革並びに農業委員会改革については、国において議論の大詰めを迎えているところであり、

は、全国農業協同組合中央会の農協法に基づかない一般社団法

「付金」の支給についてでございますが、消費税率が昨年4月に、5%から8%に引き上げられた影響を緩和するため、平成27年度においても、二つの給付措置を引き続き実施いたします。

### ◆地域福祉計画の策定

誰もが住み慣れた地域で、互いに助け合い、支え合うような関係づくりを進めるため、皆さんお一人おひとりが主役となり、また地域の各種団体・ボランティア・福祉サービス提供者・行政などが連携し、制度によるサービスだけでなく、地域での人と人との繋がりを大切にした社会の実現を目指し、より効果的かつ効果的な地域福祉の推進を図るため、行政計画である「地域福祉計画」と、民の立場である社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を、一体的に策定してまいります。

### ◆健康づくり関連

健康づくり関連につきましては、多くの住民の願いであります、「心身ともに健康的な日常生活を送る期間を延伸させる」健康寿命の延伸のため、一人ひとりの健康づくりの自立にサポートを行ってまいります。

また、生活習慣病を発症する危険度の高い集団への働きかけを、重点的に行ってまいります。個人へのアプローチだけではなく、社会一般への啓発や環境整備といった、ポピュレーションアプローチも組み合わせ

「こころの健康づくり」といたしましては、引き続き、正しい知識の普及、相談が受けられる地域づくりを行ってまいります。

特に、うつ病等は、生活習慣病の子後の悪化からつながることが多いなか、生活習慣病予防と連動して行ってまいります。

### ◆獣害対策

獣害対策につきましては、近年、野生動物による農作物に対する被害が増加するなか、本町におきましても、国や県による補助事業を活用し、侵入防止柵の設置や猟友会の会員の皆様のご協力のもと、有害鳥獣捕獲に対する事業を進めてまいりました。

平成27年度におきましても、国の「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」を活用し、農作物の被害軽減に向けた取り組みを実施してまいります。また、補助事業の対象とならない農地については、町単独事業による、侵入防止柵補助の実施などの取り組みを行ってまいります。

### ◆林業振興

林業振興につきましては、三重県では、「災害に強い森林づくり」、及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、その費用を県民の皆様幅広く負担していただき、「みえ森と緑の県民税」を導入し、平成26年4月からスタートいたしました。

本町では、この県民税を財源とした事業に取り組み、本年度は、地元県産材（三重の木）認証材）を利用し、「鶴殿老人憩の家」の建替工



平成27年度 施政方針 KIHOTOWN

事を行いました。  
今後、地元県産材(三重の木  
認証材)を利用することにより、  
地域の林業振興、並びに町の活性  
化につなげてまいりたいと考えて  
おります。

平成27年度におきましては、相野  
谷小学校屋外トイレの整備、通学路  
及び学校敷地内の危険木の除去、健  
康づくりを目的とした、鮎田富士へ  
の遊歩道整備などのハード事業、及  
び紀宝町の自然の魅力を再発見する  
場として、里山写真家や竹芸作家  
による講演会、昆虫採集や竹細工体  
験などの、ソフト事業の開催等に活  
用する予定でございます。

### 水産振興

水産振興につきましては、本町で  
はこれまで、漁業者の所得の向上・  
経営の安定を目的として、藻場の造  
成、つきいそなど、漁場の整備を行っ  
てまいりました。

しかしながら、平成23年9月に発  
生した紀伊半島大水害により、漁場  
が荒れ、漁獲量も減少しております。

これらの状況を改善するため、平  
成26年1月に、紀南漁業協同組合と  
紀宝町において三重県紀宝町産地協  
議会を発足させ、地先資源増大のた  
めの調査・分析・評価を行うソフト  
事業、漁場の環境整備などのハード

事業を行うための水産業強化計画を  
策定し、課題克服へ向け平成26年度  
には、井田茶屋地区沿岸にて、つ  
きいそ造成を行うハード事業を実施  
してまいりました。

平成27年度、平成28年度において、  
引き続きソフト事業の実施を予定し  
ております。

また、個々の地域の現状に合わせ  
て、「将来自分たちのあるべき姿」  
「取り組みべき課題」を地域の皆様  
ご自身で考えていただき作成する、  
「浜の活力再生プラン」の作成にも  
取りかかってまいりたいと考えてお  
ります。

### 高規格幹線道路

本地域における高規格幹線道路  
は、平成24年度に「熊野尾鷲道路Ⅱ  
期」、平成25年度に「一般国道42号  
新宮紀宝道路」、本年度に「一般国  
道42号熊野道路」と、着々と事業化  
されております。

残る未事業化区間は、熊野イン  
ターチェンジ(仮称)から紀宝イン  
ターチェンジ(仮称)まで約20kmの  
区間となっております、平成25年4月の  
計画段階評価を経て、現地調査等が  
進められ、今後の事業化へ向け、実  
施環境整備が着実に進められており  
ます。

近畿自動車道紀勢線(熊野市)新

に学力の向上を  
図り、放課後の  
子どもたちの安  
全・安心の居場  
所づくりにつな  
がる取り組みと  
いたしまして、  
「放課後学習サ  
ポートスクール」  
を実施して  
まいりたいと考  
えております。



土曜事業を活かした合同避難訓練



町学校防災アドバイザーの川口准教授

これは、町内の小学生を対象に希  
望者を募り、週2回程度、町内す  
べての5つの小学校において、放課  
後に学校等の施設を利用して、宿題  
や授業の復習等の自主学習に取り  
組む場を設定し、紀宝町教育委員会  
が派遣する指導員が、児童一人ひと  
り、個に応じた支援を行うもので  
す。この取り組みにより、学習習慣  
の定着、学習に対する意欲の喚起を  
図り、学力向上を目指してまいりた  
いと考えております。

また、夏休み等の長期休業中にお  
きましては、従来のサマースクール  
を強化するかたちで、町の施設を利  
用して宿題や自主学習を進める学習  
の場を設定し、指導員が個別の支援  
を行うことにより、学力の向上を図  
ってまいりたいと考えております。

防災教育につきましては、平成25  
年度から、三重大学大学院工学研究  
科 川口淳准教授を、紀宝町学校

宮市間)建設促進期成同盟会では、  
第1回目の要望活動を平成26年7月  
に、第2回目の要望活動を10月に、  
三重・和歌山両県及び国土交通省、  
財務省、地元選出国会議員に対し、  
「近畿自動車道紀勢線(新宮・熊野間)  
の未事業化区間を早期に新規事業化  
すること」、「一般国道42号新宮紀宝  
道路、一般国道42号熊野道路を早期  
に工事着手すること」、「平成27年度  
の道路関係予算を増額すること」な  
どを強く要望してまいりました。

未事業化区間が早期に新規事業化  
されるよう、各関係機関へ地域の想  
いを届けてまいりたいと考えており  
ます。

### 建設工事

建設工事につきましては、「道整備  
交付金事業」を活用し、町道相野口  
永田線改良工事を始めとする、24路  
線の改良工事を実施してまいります。

また、「社会資本整備総合交付金事  
業」につきましても、井田地区の上  
野跨道橋耐震補強工事を始めとする  
3橋の耐震補強工事、橋梁点検、鶴  
殿小学校前踏切の拡幅に伴う測量設  
計、及び鶴殿地区の新橋梁建設に伴  
う測量設計を実施してまいります。

長年、鉄道事業者に対し要望して  
まいりました鶴殿小学校前踏切の拡  
幅につきましては、国土交通省のお

防災アドバイザーに委嘱させていた  
だき、平成26年度は、教職員を対象  
に全体研修会や、児童・生徒とも  
にタウンウォッチング、防災マップ  
づくりを行うなどの取り組みを進め  
てまいりました。

今後、子どもたちの防災意識の  
向上を図っていくとともに、学校と  
地域が連携した取り組みを進めてい  
きたいと考えております。

### 予算

政府は、現在の我が国の経済情勢  
を、大胆な金融政策、機動的な財政  
対策、民間投資を喚起する成長戦略  
の「二本の矢」の一体的推進により、  
緩やかな回復基調が続いているもの  
の、個人消費等に弱さが見られ、平  
成26年度前半には実質GDP成長率  
がマイナスとなったが、平成27年度

力添えをいただくなか、東海旅客鉄  
道株式会社様の多大なるご理解をい  
ただき、平成27年度からの3か年計  
画により、踏切改良の実施について、  
ご了解をいただいたところでござい  
ます。改めて、国及び東海旅客鉄道  
株式会社様に感謝申し上げます。

### 教育関係

教育関係でございますが、国に  
おきましては、教育委員会制度の  
改革として「地方教育行政の組織  
及び運営に関する法律の一部を改  
正する法律」が、平成26年6月20  
日に公布、本年4月1日から施行  
されるとい、大きな制度改正の  
時期にあります。

本町といたしましては、法の施行  
に合わせて4月1日から、この新制  
度をいち早く導入し、組織強化を図  
るための、教育委員長と教育長を一  
体化した「新教育長」の任命を行っ  
てまいります。また、総合教育会議  
を設置し、教育の政治的中立性、継  
続性・安定性を確保しながら、地方  
教育行政における責任の明確化、迅  
速な危機管理体制の構築、教育委員  
会との連携強化を図ってまいります

経済は、堅調な民需に支えられた景  
気回復が見込まれると分析し、平成  
27年度の予算編成を行いました。

国の平成27年度一般会計予算に  
おきましては、前年度当初比0.5  
%増の96兆3420億円と、過去  
最大を更新いたしました。企業の  
業績回復を見込み、税収は24年ぶ  
りの高水準となり、新規国債の発  
行額は、当初予算では6年ぶりに  
30兆円台に抑えました。歳出では、  
安倍政権が力を入れる「地方創生」  
に向けた政策に重点配分がなされ、  
アベノミクス3年目は、平成26年  
度補正予算経済対策も併せて、「経  
済再生と財政健全化の両立」を目  
指すとされております。

本町におきましては、国の動向に  
注意を払い、情報の収集を行いなが  
ら、予算の編成に取り組んでまいり  
ました。

平成27年度当初予算につきましては  
は、重要度や緊急度が特に高いもの、  
地域からのご要望にこたえる必要があ  
るものなどを選択するなど、可能な  
限り支出の削減に努め、町債につき  
ましては、地方交付税措置の厚い地  
方債を優先的に充当して、将来への  
負担軽減を図るなど、今後の町財政  
への影響を見据えた編成を行ったと  
ころでございます。

※予算については、次回発行の広報  
きほう5月号で紹介させていただきます  
ます。

# 水道料金を値上げします!!

将来を見据えた「災害に強い水道づくり」に向けて

平成27年5月検針分から  
平均20%値上げ

水道事業では、平成11年度に料金を値上げして以来、今日まで現行料金を維持する中で健全経営に努めてきました。しかし、将来発生が危惧されている「南海トラフ大地震」に備え、御船浄水場にある浄水施設の耐震化や、老朽化した配水管を耐震管に更新するなど、計画的に取り組みなければなりません。

このような状況から、課の統合や人件費の削減などさまざまな効率化を図ってきましたが、こうした内部努力にも限界があり、今後も経営状況の悪化が予想されています。これを受け、長期的な水道事業全般の健全経営に向けて、事務事業の見直しや、水道施設の今後のあり方などの検討を行いつつ、これらを町議会

で組織されている「紀宝町水道事業基本計画に係る検討会」で協議した結果、町議会平成26年12月定例会で承認された水道料金の改定（値上げ）をお願いすることとなりました。平成27年5月検針分から水道料金を平均約20%改定（値上げ）させていただきます。

## 老朽化した浄水場や 水道管の更新の必要性

ライフライン（命綱）のひとつである水道を、常に安定してお届けするために、削減することのできない費用があります。御船浄水場における浄水施設の耐震診断や水道管の工事費などです。

町の水道施設は、昭和40〜50年代の高度経済成長期に建設された御船浄水場や水道管が布設されており、水道施設

の耐震診断を含め水道管の更新が今後10年間で一斉に更新時期を迎えようとしています。また、平成67年度までの40年間における建物および設備で約40億、水道管で約26億の更新費用が必要と試算しています。

水道管については、これから迎える大量更新時期を見据えた「災害に強い水道づくり」に向けて、最新技術を導入し耐震性に優れた水道管（耐震管）を採用し、「耐震化」に取り組んでいます。

今後も、安全で安心な水道水を常に安定してお届けできるよう努め、さらなる経営の効率化や経費の削減等、なお一層の経営努力に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

## 水道料金の計算方法

### ◆はじめに

水道料金は、次のようなしくみになっています。

$$\text{水道料金} = \text{基本料金} + \text{従量料金} + \text{メーター使用料} + \text{消費税}$$

### 【基本料金】

水を供給するために必要な原価。用途別ごとに料金を設定しています。（表1）

### 【従量料金】

使用した水の料金。水量区分によって1㎡あたりの単価を設定しています。（表2）

### 【メーター使用料】

口径別に料金を設定しています。（表3）

### ◆計算してみよう

例) 口径13mmで、1か月18㎡の水をお使いの場合【家事用】

- (改定後)
- ①基本料金 (10㎡まで) 1,240円
  - ②従量料金 (8㎡×160円) 1,280円
  - ③メーター使用料 50円
  - ④消費税 (①+②+③の8%) 205円
- 2,770円  
(10円未満端数切り捨て)

### 【変更点】

この場合、基本料金が190円増、従量料金が1㎡につき30円増(30円×8㎡)、それに消費税が加わり、合計460円の値上げとなります。

## 新しい水道料金表 (税抜き)

### 【表1】基本料金

口径	基本水量	現行料金	新料金	増加額
● 家事用				
13～25mm	10㎡まで	1,050円	1,240円	190円
● 官公署・学校・病院等				
13～50mm	20㎡まで	2,450円	2,900円	450円
● 会社・工場・営業用				
13～50mm	20㎡まで	2,850円	3,370円	520円

### 【表2】従量料金 (1㎡につき)

口径	使用水量	現行料金	新料金	増加額
● 家事用				
13～25mm	11～30㎡	130円	160円	30円
	31㎡以上	170円	210円	40円
● 官公署・学校・病院等				
13～50mm	21～40㎡	140円	180円	40円
	41㎡以上	180円	230円	50円
● 会社・工場・営業用				
13～50mm	21～40㎡	180円	220円	40円
	41㎡以上	190円	240円	50円

### 【表3】メーター使用料

口径	増加額
13 mm	50円
20 mm	90円
25 mm	100円
40 mm	250円
50 mm	700円



## 教えて！水道のしくみ

なぜですか？

**Q** 水道料金が市町によって違うのはなぜですか？

**A** 各市町の水道事業は、水源や浄水処理方法、地形的な条件、人口の密度や分布など、さまざまな違いにより、水を作り、みなさんのところまでお届けするための費用が異なるため、水道料金に違いが出てくるのです。

## Q 料金改定は毎年どうなるの？

**A** 公益社団法人日本水道協会が作成している「水道料金算定要領」においては、将来におけるさまざまな費用を算定し、概ね3年から5年を基準として料金改定するかしないかを含めて検討するのが望ましいとされています。

ています。

紀宝町では、平成11年度に料金を値上げさせていただいたことから、15年間料金を据え置いて運営してきました。

## Q 巨大地震がすごく心配ですが町内の水道施設は大丈夫なの？

**A** 阪神淡路大震災の発生以降、水道施設の耐震化が全国的な課題となりましたが、東日本大震災の際、耐震性能のある水道管は、被害がほぼ無かったと報告されています。水道管の耐震化が進めば、震災被害や復旧までの時間が最小限で済むことが予想されます。

今後、町内に布設している水道管を計画的に耐震性能のあるものに替えていくことで、巨大地震などの災害に備えていきたいと考えています。

## Q 水道料金を値上げせず水道会計に対して一般会計から不足額を補てんしたら？

**A** 水道事業は、地方公営企業法という法律により基本的に水道料金で賄う「独立採算」が義務付けられています。そのため、国が認めた一部の経費以外、補てんは認められておらず、水道事業の運営に必要な経費は水道料金で賄わなければなりません。

任意・定期予防接種費の助成

# ワクチンの予防接種費を助成します！



町では、ワクチンの任意予防接種と、定期予防接種の費用の一部助成を、今年度も下記のとおり実施します。

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。

## ◆任意予防接種（ロタウイルス・おたふくかぜワクチンなど）

ワクチンの任意予防接種は、紀宝町に住民登録があり、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに接種した方が助成対象となります。今年度からは、従来のおたふくかぜ、成人用肺炎

球菌、風しんのワクチンに加え、ロタウイルスワクチンの費用も助成されることになりました。対象者や助成金額は下記の表のとおりです。

申請期限は平成28年3月31日(木)までです。

接種種類	対象者（接種時の年齢など）	助成金額	申請時必要書類
ロタウイルス	2回接種・生後6週～24週まで	※1回7,000円を上限とし2回助成	母子健康手帳領収書
	3回接種・生後6週～32週まで	※1回4,700円を上限とし3回助成	
おたふくかぜ	1歳～4歳未満	支払額の1/2の額（上限3,000円） 1人1回限り	母子健康手帳領収書
肺炎球菌	65歳以上で、定期接種の対象とならない者（これまでに助成を受けた事がない者）	支払額の1/2の額（上限4,000円） 1人1回限り	健康手帳または接種済証領収書
風しん（三日はしか）	①妊娠を希望する女性 ②妊婦の夫および、妊婦と同居する家族 ※風しん感染しない高い抗体価を有する者は、対象外です。	一律5,000円	①の方は接種済証 ②の方は妊婦の母子健康手帳領収書

## ◆定期予防接種（高齢者肺炎球菌ワクチン）

【対象者】 下記の方を対象に1回接種

①平成27年度から平成30年度までは該当する年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方

②60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活が極度に制限される程度の障がいやヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方。

※制度の対象となるのは、1人1回限り。過去に接種を受けたことがある方は対象外となります。

平成27年度の定期接種の対象者

対象者	生年月日
65歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日
70歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
75歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日
80歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
85歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日
90歳	大正14年4月2日～大正15年4月1日
95歳	大正9年4月2日～大正10年4月1日
100歳	大正4年4月2日～大正5年4月1日

【接種費用】 2,500円

【持ち物】 健康保険証、健康手帳

### 廃止のお知らせ

## 水痘（みずぼうそう）予防ワクチンの接種費補助は廃止します

水痘ワクチン予防接種は、平成26年10月1日から、今までの任意接種から定期接種に移行され、対象者は公費（無料）で接種することできるようになりました。それに伴い、水痘予防ワクチン接種費補助事業は、平成27年3月31日をもって廃止いたします。

投票は、地方を変える絶好機です

# 三重県知事選挙・三重県議会議員選挙の投票日は4月12日（日）です！！



## ◆投票できる方

平成7年4月13日以前に生まれた方で、知事選挙は平成26年12月25日以前から、また県議会議員選挙は平成27年1月2日以前から、引き続き3か月以上、紀宝町に住民登録されている方。（※平成26年12月26日から平成27年1月2日までの間に紀宝町に転入された方は、4月2日以降であれば紀宝町で知事選挙および県議会議員選挙の投票が可能です。）

## ◆投票日および投票時間

4月12日（日）

投票日当日は、各投票所とも午前7時から投票できます。投票所により閉鎖する時刻が異なりますので、下記の表でご確認ください。

投票区	投票所の名称	投票時間
第1	桐原生活改善センター	午前7時～午後6時
第2	高齢者生産活動センター	午前7時～午後7時
第3	大里多目的集会施設	午前7時～午後7時
第4	高岡防災センター	午前7時～午後7時
第5	鮎田構造改善センター	午前7時～午後7時
第6	北檜杖多目的集会施設	午前7時～午後6時
第7	浅里生活改善センター	午前7時～午後6時
第8	中村多目的集会施設	午前7時～午後7時
第9	成川生活改善センター	午前7時～午後7時
第10	神内構造改善センター	午前7時～午後7時
第11	上野農事集会所	午前7時～午後7時
第12	井田公民館	午前7時～午後7時
第13	紀宝町役場本庁舎1階 町民ホール	午前7時～午後7時

## ◆期日前投票

投票日当日に仕事や旅行などで投票できない方は、「期日前投票」ができます。（知事選挙と県議会議員選挙とで投票期間が異なりますので、ご注意ください。）

【期間】

知事選挙 3月27日(金)～4月11日(土)

県議会議員選挙 4月4日(土)～4月11日(土)

【時間】 午前8時30分から午後8時まで

（知事選挙、県議会議員選挙ともに）

【場所】 紀宝町役場本庁舎1階 町民ホール

## ◆不在者投票

入院または施設に入所されている方、身体に重度の障がいのある方、仕事や学校などで町外に住んでいる方は、事前の手続きにより、次のとおり「不在者投票」ができます。

●病院や施設での不在者投票：指定された病院や施設に入院（入所）中の方は、その施設内で投票することができます。院長または施設長にお申し出ください。

●郵便による不在者投票：身体に重度の障がいのある方で、要件を満たして事前に「郵便投票証明書」の交付を受けた方は、自宅で投票をすることができます。

●滞在地での不在者投票：紀宝町に住所があり選挙人名簿に登録されている方のうち、町外に滞在している方は、事前に請求をすれば、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で投票できます。

## ◆投票所入場券の発送

投票所入場券は、住民登録がある住所へ発送します。住民登録と現住所が異なっている方は、入場券が届かない場合があります。また、投票所入場券がなくても、選挙人名簿に登録され当日選挙権があれば投票できます。

## ◆開票

4月12日（日）午後8時10分から、紀宝町生涯学習センターまなびの郷で行います。

▶詳しくは、紀宝町選挙管理委員会（役場総務課内☎33-0333）まで、お問い合わせください。

「資源」と「ごみ」正しく分別して出しましょう

## ごみ収集カレンダーをご活用ください

町では、ごみ収集日程を掲載した「ごみ収集カレンダー」を今年度も発行しました。

今月号の広報きほうといっしょに各世帯に配布しますので、ご活用ください。

### 今年度の重点注意事項

- ◆ごみは、分別して決められた日に！  
ごみは、きちんと分別をして、決められた日の朝8時30分までに出してください。
- ◆ごみは、ごみボックスの中に！  
ごみは必ず、ごみボックスの中に入れてください。外に置かれてしまうと、ネコやカラスに荒らされてしまいます。
- ◆ごみボックスが満杯時、翌日以降に！  
ごみボックスがいっぱいの時は、翌日以降の決められた日に出してください。

なお、「保存版・資源とごみの正しい分け方」を、ごみ収集カレンダーに折り込んでいます。今後、分別方法に変更がない限り、新しく配布することはありませんので、大切に保管してください。  
※万が一、紛失した場合は、役場環境衛生課までお問い合わせください。



平成27年度版ごみ収集カレンダー



ごみ収集カレンダー



分別方法表

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

開かれた学校づくりを進めるため

## 町内の全小・中学校で、土曜授業を今年度も実施！

紀宝町教育委員会では、小中学校の土曜授業に関して、国や県の方針に沿って検討を進め、平成26年度には、1学期に試行、2学期から本格実施してきました。

実施内容としては、保護者や地域の方も参加した学習活動や、消防団による出前講座や防災訓練など、多様な学習活動をととして開かれた学校教育を展開しました。また、授業時数を増加させることで、よりきめ細やかな指導を行い、学力の向上につながる取り組みとなりました。

そこで、町教育委員会では、平成27年度も、8月を除く毎月第3土曜日に、次の内容で土曜授業を実施していきます。

### ◆土曜授業の「ねらい」とは

- 保護者や地域の方々の学習活動への参加が容易になり、開かれた学校づくりをさらに進めていくことができる。
- これまで平日に行っていた授業を土曜日に実施することにより、平日の放課後にゆとりができ、子どもたちが先生と関わる時間が増えるなど、より豊かな教育環境が提供できる。
- 授業時数が増加することで、よりきめ細やかな指導を行い、学力の向上を図ることができる。

▶詳しくは、町教育委員会（☎33-0341）までお問い合わせください。

愛犬のためにあなたのできること

## 狂犬病予防注射と畜犬登録のお知らせ

犬を飼っている方は、その犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務づけられています（狂犬病予防法）。

平成27年度の狂犬病予防注射、および畜犬登録を右記のとおり実施しますので、この機会をご利用ください。また、犬の死亡、飼い主の住所・氏名が変わったなど登録事項が変更になったときは、届け出をお願いします。

◆対象 生後91日以上の飼い犬

◆料金（1頭あたり）

【登録済の犬】 **3,200円**

（注射料2,650円＋注射済票550円）

【未登録の犬】 **6,200円**

（注射料等3,200円＋登録料3,000円）

※なるべくおつりのいらぬよう、ご用意ください。

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

### ◆狂犬病予防注射実施日時

日程	時間	場所
4月9日(木)	8:50～9:05	桐原生活改善センター
	9:15～9:25	阪松原生活改善センター
	9:35～9:45	平尾井生産活動センター
	9:55～10:10	大里多目的集会施設
	10:20～10:30	旧JA高岡出張所前県道
	10:45～11:00	鮎田構造改善センター
	11:10～11:15	北松杖多目的集会施設
	11:30～11:35	旧JA浅里出張所前
	13:10～13:35	役場分庁舎駐車場（成川）
	13:45～14:20	飯盛多目的集会施設
14:30～15:00	神内構造改善センター前	
4月10日(金)	9:10～9:30	下り場駐車場
	9:40～10:20	井田公民館
	10:30～11:05	上野つどい館
	11:15～11:35	鶴殿長谷集会所
	13:15～13:50	鶴殿駅自転車置場前
	14:00～14:25	役場本庁舎裏

飼い主のみなさんへ マナーを守ろう

## ペットの『ふん』は必ず持ち帰りましょう

最近、犬の『ふん』が放置されているという苦情が多数寄せられています。もし、家の周りや道路、田畑などに『ふん』が散乱していたらどんなに迷惑でしょう。一部の方のマナー違反が、たくさんの方を不快にさせています。

散歩中などに『ふん』をした場合は、きちんと持ち帰って処理してください。絶対にそのまま放置しないでください。散歩をさせる時は、下記のような『ふん』を処理するための道具を持って出かけましょう。清潔で住みよい環境を守るために、ご理解とご協力をお願いします。



### ◆『ふん』を処理するための道具（一例）



#### ポリ袋

回収した『ふん』を入れて持ち帰るため



#### スコップ

『ふん』をすくって袋の中に入れるため



#### ティッシュ類

『ふん』をくるんだり、地面を拭いたりするため



Purified

シリーズ 浄化槽 ~きれいな川を 未来に残そう~ その②



Purifying

## 法定検査は必ず年1回受けましょう!!

浄化槽を設置しても、きれいな処理水を保つためには、保守点検・清掃（くみ取り）・法定検査といった維持管理が欠かせません。なかでも、毎年1回、定期的に受けていただいている法定検査（11条検査）は、浄化槽がきちんと維持管理され、正常に機能しているかを調べる大切な検査です。

### 法定検査は毎年1回受けましょう

法定検査（11条検査）は、毎年1回行う、いわば浄化槽の健康診断のようなものです。法定検査は、保守点検とは目的や作業内容が異なり、浄化槽管理者（個人設置型の場合は個人、市町村設置型による町営浄化槽整備推進事業の場合は、管理者は町となります）が保守点検業者と委託契約をしても、指定検査機関による法定検査は必要です。法定検査は、管理者の責任として定められている保守点検や清掃がきちんと実施されているか、浄化槽の機能が正常に発揮されているかどうかを調べるもので、指定検査機関の定期検査を毎年1回受けることが、浄化槽法でも義務付けられています。

### 鶺鴒地区の法定検査は4月～5月に実施

法定検査は、三重県知事の指定を受けた検査機関である一般財団法人三重県水質検査センターが、BOD

検査などの水質検査を実施しています。鶺鴒地区の法定検査は、4月～5月に実施する予定です。法定検査の実施時期が近づくと、法定検査の案内が届きますので、案内文書が届いたら、必ず検査を受検しましょう。なお、紀宝町営浄化槽整備推進事業で設置された浄化槽

および同事業で寄付採納扱いとなっている浄化槽については、設置月や寄付採納月によって検査月が異なりますので、鶺鴒地区であっても、4月～5月に実施されるとは限りません。▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

## こんなとき、どうしたらいいの？ 浄化槽 Q & A



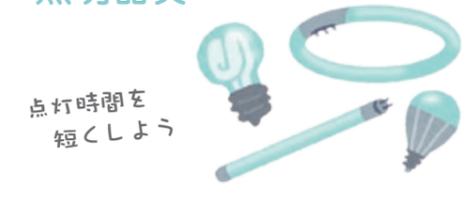
環境衛生課 林直幸 浄化槽博士

- Q：法定検査は、受けないといけないの？**  
**A：**毎年1回の法定検査（11条検査）は、浄化槽法でも義務づけられています。町の水環境を守るためにも、みなさん、ご協力ください。
- Q：検査を受けるときの注意点は？**  
**A：**検査当日、不在でも結構ですが、不在の場合は、「法定検査のご案内」の下部に必要事項を記入し、保守点検や清掃の記録票と一緒に玄関先など目につきやすいところにおいてください。また、当日はマンホールの上に車などを駐車しないようにお願いします。

## 家庭でできる温暖化対策

シリーズ ストップ地球温暖化 その⑦

### 今月のテーマ 照明器具



点灯時間を短くしよう  
54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

年間削減効果  
電気 19.71kWh  
CO<sub>2</sub> 6.9kg

年間節約金額  
約 430円

【出典：財団法人省エネルギーセンター／家庭の省エネ大事典】



人がいないのに、照明をつければなしにしていませんか。昼間や人のいない部屋などの明かりはこまめに消すようにしましょう。

照明器具の取り替え時期がきたら、省エネ型のものを選びましょう。たとえば、電球型蛍光灯ランプは、同じ明るさの白熱電球に比べて寿命は約6倍と長く、消費電力は4分の1以下です。そのため、価格は高めですが電気代が安くなります。

### ワンポイントアドバイス

#### ◆照明器具の掃除で明るさアップ!!

照明のかさやカバーが汚れていると、明るさが低下してしまいます。汚れやすい場所をこまめに掃除をして、明るさを向上させましょう。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。



お住まいの近くで、役場業務が利用できます

## 移動支所をご利用ください

表① 4月の移動支所開設日程 ピンク色は、移動図書館も開設

開設日	会場	開設時間
月曜日	6日 桐原生活改善センター	9:00~10:15
	13日 平尾井高齢者生産活動センター	10:30~11:45
	20日 大里多目的集会施設	13:30~14:45
	27日 上野農事集会所	15:00~16:15
火曜日	7日 浅里生活改善センター	9:00~10:15
	14日 北松杖多目的集会施設	10:30~11:45
	21日 中村多目的集会施設	13:30~14:45
水曜日	8日 阪松原生活改善センター	9:00~10:15
	15日 永田青年クラブ	10:30~11:45
	22日 井田公民館	13:30~14:45
	29日 地下集会所	15:00~16:15
木曜日	2日 上地多目的集会施設	9:00~10:15
	9日 下地生活改善センター	10:30~11:45
	16日 茶屋地構造改善センター	13:30~14:45
	23日 下り場集落センター	15:00~16:15
金曜日	3日 高岡防災センター	9:00~10:15
	10日 鮎田構造改善センター	10:30~11:45

### 町内17か所で開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に向いて、移動支所を開設しています。（表①移動支所開設日程をご覧ください）  
お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

### 移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務（交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします）や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。  
▼詳しくは、役場税務住民課（☎33-0337）までお問い合わせください。

今月のテーマ  
子育て支援に関する冊子

# 「子育てガイドブック」を ご活用ください



**福** 社課では、子育て支援事業をまとめた「子育てガイドブック」を作成しました。

このガイドブックでは、町で行っている妊娠・出産・子育てに関する支援、事業、情報を具体的に紹介しています。内容は、「助成金関係」「保健関係」「相談・教室関係」「障がいのある子ども・家庭への支援」「子どもを預ける場所・通う場所」があります。

「相談窓口一覧」などで、項目ごとまとめられており、これから子育てされる方にも、子育て中の方にも、とてもわかりやすくなっています。

子育て中は、なにかと不安や、わからないことがつきものです。そんな時に、このガイドブックをぜひご活用ください。

## ◆掲載内容の一例

- 助成金関係
  - ①児童手当、②出産祝金支援事業、③児童扶養手当、④療育手帳、⑤特別児童扶養手当
  - ⑥チャイルドシート助成事業、⑦子ども医療費助成、⑧一人親家庭等医療費助成など全17項目

## ●保健関係

- ①母子健康手帳交付、②妊婦健康検査・乳児健康診査助成、③乳幼児健康診査および保健指導、④歯科健康診査およびフッ化物歯面塗布など全6項目

## ●相談・教室関係

- ①すくすく育児相談、②こんにちは赤ちゃん訪問事業、③プレママ教室、④ブックスタート事業など全13項目

## ●障がいのある子ども・家庭への支援

- ①障がい児福祉手当、②障がい者医療費助成、③就学奨励費など全8項目

## ●一人親家族への支援

- ①児童扶養手当、②一人親家庭等医療費助成、③就学援助制度など全5項目

## ●子どもを預ける場所・通う場所がありますか

- ①保育所、②児童発達支援センター「通園めだか」、③子育て支援センターなど全6項目

## ◆ガイドブック配布場所

- ・役場福祉課
- ・保健センター
- ▼詳しくは、役場福祉課 ☎33-0339 までお問い合わせください。

## 図書館だより

今月のおすすめ図書 テーマは「子どもと読書」



**子どもと本**  
松岡享子 / 著  
岩波書店  
暮らしの中に本があり、大人が本を読んでやること。子どもを本好きにするのにこれ以上の手だてはないという著者による究極の1冊。



**そして、ねずみ女房は星を見た**  
清水真砂子 / 著 テン・ブックス  
「人生は生きるに値する」そのことを伝えている、大人が読みたい子どもの本を多数紹介。あなたの読みたい本がきっと見つかります！



**石井桃子のこぼれ**  
中川李枝子 / ほか著 新潮社  
日本の児童文学界に多大な影響を与えた石井桃子さん。その遺された素晴らしい言葉の数々が美しい写真とともによみがえる珠玉の1冊。



**わたしはなぜファンタジーに向かうのか**  
斎藤惇夫 / 著 教文館  
「ガンバの冒険シリーズ」で有名な著者が、3.11後に伝えていきたい思いとは？大人と子どもにぜひ読んでほしいブックリスト付き。

## ◆子ども読書の日

4月23日(木)は「子ども読書の日」です。図書館では、この日に関連して、4月25日(土)に「スペシャルおはなし会」を開催します。午後からは、『はらぺこあおむし』でおなじみのエリック・カールさんのように、自分だけの色紙を作りカラーシユ(貼り絵)を行います。ぜひご参加ください。

また、4月23日(木)～5月12日(火)は「こどもの読書週間」です。期間中、恒例の読書クイズや、おすすめの本、児童書を展示しますので、どうぞご利用ください。

**スペシャルおはなし会**  
**4月25日(土)**

0歳児：午前10時～10時半  
1歳以上：午前11時～11時半  
3歳以上(小学生含む)：午後1時半～3時

◆鶴殿図書館 ☎32-4646  
◆利用時間：9:30～18:00  
◆休館日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

## 紀宝警察署 からのお知らせ

### 三重県警察就職説明会の開催

三重県警察の就職説明会が開催されます。今、警察官＆警察事務官になる第一歩を踏み出すとき！！

**【日時、場所】**

- 3月27日(金) 14:00～16:00 じばさん三重
- 3月29日(日) 10:00～12:00 三重県警察本部
- 4月4日(土) 14:00～16:00 伊勢市観光文化会館

**【内容】**  
警察官、警察事務官の仕事内容、採用試験のアドバイス、制服試着体験、質問コーナー 等

**【お問い合わせ、お申し込み先】**  
三重県警察本部警務課採用係 059-222-0110  
三重県警 HP <http://www.police.pref.mie.jp>  
紀宝警察署 ☎33-0110

## ごみは資源 のコーナー

### 春の家庭用粗大ごみ戸別訪問収集が始まります！

4月中旬から「春の家庭用粗大ごみ戸別訪問収集」が始まります。地区によって、申込日や収集日が異なりますのでご注意ください。詳しくは、今月号に折り込まれているチラシ(家庭用粗大ごみ戸別訪問収集について)をご覧ください。

**お願い♪**  
粗大ごみを出す際は、ごみに「粗大ごみ」と大きく張り紙し、当日8時30分までに、玄関前などわかりやすい場所に置いてください。



役場環境衛生課 ☎33-0338

## 広報クイズ

- 【問題】**
- ①特集：郷土の偉人 ○○種基
  - ②ワクチンの○○接種費を助成します
  - ③○○収集カレンダーをご活用ください
  - ④浄化槽：法定検査は必ず年○回受けましょう
  - ⑤今月の「紀の宝みなと市」は4月○○日



フレーバーラマアイスクリーム

4月号の当選者へは抽選で左記の物が当たります

## ◆応募資格

紀宝町内に在住の方

## ◆応募方法

ハガキかメール(koho@town.kiho.lg.jp)で、クイズの答えら問分(○の中に入る数字や文字)と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報きほう」についてのひと言を書いて、役場企画調整課広報係(〒519-5701 紀宝町鶴殿324)まで応募してください。正解者の中から、抽選で5名の方に、上写真の「町の特産品」をお贈りします。

**◆締め切り**  
4月13日(月)必着 (当選者の発表は、来月号のこのコーナーで)

**◆3月号の正解**  
①浅里 ②2 ③買え買え ④麦 ⑤21

**◆3月号当選者**  
(応募総数29通・正解者29人)  
賞品は「セミノール」

- ・中尾 和代さん(成川)
- ・西 利世子さん(神内)
- ・奥 美津子さん(井田)
- ・芝崎 文余さん(鶴殿)
- ・玉置 衆彦さん(鶴殿)

▼詳しくは、役場企画調整課 広報係 ☎33-0334 までお問い合わせください。



koho@town.kiho.lg.jp

# 春は、心と体の疲れに注意!!

## あなたの心と体、疲れていませんか？

**桜** が舞い散るこの季節、卒業、入学、就職、職場の異動などで、新しい仲間や新しい職場、新しい環境になり忙しい時期になります。その桜も葉桜のころになり、生活が落ち着いてきたころに、体がだるく疲れやすい、無気力感、不眠傾向、人と話すのもおっくうという症状が現れやすくなったりします。

- ・寝つきが悪い、またはよく眠れない
- ・食欲がない、または過食してしまう
- ・何事にも興味がわかず、楽しくない
- ・仕事上のミスが増える
- ・物事に集中できない
- ・すぐ疲れる
- ・だるさが続く
- ・イライラすることが多い

◆心身のバランスを整えて安定させるには、次のことに心がけましょう。

- 1 休養をとる**  
休日には何もしない、のんびりした時間も必要です。プライベートも忙しくし過ぎないように気をつけましょう。好きな音楽を聴いたり、散歩をしたり、自分なりのリラックス法で休日を過ごしましょう。

② **栄養バランスのよい食事**を  
ビタミンやミネラルが豊富な野菜や果物が不足しないよう心がけましょう。

③ **体温調節を上手く**  
気候が不安定な春には、薄手の重ね着を心がけて、暑さ・寒さを感じたら、すぐに着脱できるように備えておきましょう。暑さ寒さもストレスになります。

④ **軽く体を動かす**  
就寝前などに、ストレッチなど手軽にできる体操を取り入れましょう。心身がリラックスして、より良い眠りへと導いてくれるでしょう。

⑤ **生活リズムを整える**  
起床時間、就寝時間、食事の時間をなるべく同じ時間になるように心がけましょう。決して無理はせず、自分に合ったリズムで整えましょう。

◆次のような症状が、2週間以上続くようなら、専門家に相談しましょう。

管理栄養士 寺澤博子



### Cooking

楽しく、おいしい  
簡単料理♪ その92

今月のお料理  
美味しいこと以外にも良いこといっぱい♪

## 麻婆キャベツ

**春** キャベツは葉が柔らかくて水分が多く、甘みもあるのが特徴で、ビタミンCやビタミンU、食物繊維などが含まれています。ストレスなどにより体内で消費されてしまつたビタミンC。胃の働きを助けるビタミンU。これらが含まれているキャベツは、新生活が始まりさまざまなストレスが加わるこの季節をサポートしてくれます。キャベツを食べて、新生活に向けて、準備しましょう。

### 【作り方】

- ①キャベツは大きめのざく切りにする（人参を加えても可）。Aはみじん切りにする。
- ②フライパンに油を熱し、Aを炒め、香りが出たらひき肉を入れて炒める。
- ③ひき肉の色が変わったら豆板醤を加えて炒め、キャベツを加えてさらに炒めてしんなりしたら、Bを加える。全体に味がなじんだら水溶き片栗粉でとろみをつける。



One Point Advice  
豆板醤でお好みの辛さに調節しましょう♪

エネルギー（1人あたり）：約166kcal  
塩分：約1.2g

### 【材料（2人分）】

- |      |         |          |          |
|------|---------|----------|----------|
| キャベツ | … 大3枚   | 油        | … 小さじ1   |
| 人参   | … 1/4本  | 豆板醤      | … 小さじ1/4 |
| 豚ひき肉 | … 100g  | 鶏がらスープの素 | … 小さじ1/2 |
| 白ねぎ  | … 1/4本  | 醤油、酒     | … 大さじ1/2 |
| しょうが | … 1/2かけ | 水溶き片栗粉   | … 適量     |

## Cooking

### Calendar

Health April Calendar

## 4月の健康カレンダー

### 介護予防事業（対象：65歳以上の方）

日	会場と開催時間
◆ <b>小さなボールをつかった健康運動教室</b>	
2・16日	鶴殿地域交流センター（午前10時～11時）
9・23日	上地多目的集会施設（午前10時～11時）
15日	成川生活改善センター（午前10時～11時）

### ◆ 健康長寿ヨガ

17・24日	鶴殿地域交流センター（午前10時45分～11時45分）
--------	-----------------------------

### ◆ 貯筋運動（腹筋と下肢筋力をつけるための運動）

13・27日	大里多目的集会施設（午前9時30分～11時）
--------	------------------------

※要予約：詳しくは、町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

### 子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
14日	7・8か月離乳食教室（午前10時～11時30分）
28日	すくすく育児相談（午前9時30分～11時30分）

※要予約：詳しくは、保健センター（☎32-3700）まで。

### 4月の休日救急当直医

日	病院名	内科・外科
5日	米良医院	☎(22)2710 内科
12日	米良クリニック	☎(21)7878 外科
19日	熊野路クリニック	☎(21)2110 内科
26日	谷地内科	☎(23)3088 内科
29日	味八木胃腸科	☎(21)5610 外科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内科

※変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。  
※診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

### Dentistry

竹田歯科衛生士の歯の健康ひとロメモ その110

今月のテーマ

## 子どものむし歯が減っています

**全** 国的に子どものむし歯が減っています。紀宝町でも、10年前と比較すると、むし歯の経験者の割合は平成15年度の3歳児健診受診者では、41.9%でしたが、平成25年度では17.8%になりました。また、1人あたりのむし歯本数は、平成15年度では2.1本あったものが、平成25年は0.7本に減りました。この10年で半分以下に減ったことがわかります。

子どものむし歯は、保護者の意識・知識・行動の変化で大きく左右します。むし歯予防に関心をもち、予防方法を知り、毎日の生活に習慣として取り入れていただけるといったことが、子どものむし歯を減らすことにつながった理由です。

「よく噛んで食べる」「だから甘いものを食べない」「ついねいに歯磨きをする」など、子どものころからの歯を守る生活習慣は、大人になつてからの全身の健康につながるものです。

どうぞ、お子さんだけでなく家族みんなで歯の健康を守り、生活習慣病もいっしょに予防しましょう。

歯を大切に  
しようね♪

竹田 仁香 歯科衛生士





Town topics  
2/15

01. 三重県庁前をスタートした第一走者の選手たち。紀宝町のゼッケンは65番。02. 紀宝町を代表する駅伝ランナーたち。03. 総合区間賞を獲得した第9区の高見澤選手（左）



## 第8回美し国三重市町対抗駅伝 美し国駅伝で、高見澤選手が区間賞!!

県内市町 29 チームの小学生から社会人までの 10 人が、県内各市町の活性化と市町相互の交流を目的にタスキをつなぐ「第8回美し国三重市町対抗駅伝」が2月15日、津市の県庁前から伊勢市の県営総合競技場を結ぶ10区間、42.195kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームは、2時間41分07秒で総合23位（町の部11位）と健闘し、なかでも、4年連続で第9区に起用された高見澤安珠選手は、20分07秒の好記録で区間賞（総合の部）を獲得しました。高見澤選手は、「2度目の区間賞をとれて、とてもうれしいです。来年もがんばりたいと思います」と話していました。



## 2015 七里御浜防風林GG作戦 七里御浜海岸を守るため、クロマツを植樹!!

七里御浜松林を守る協議会は2月15日、「2015 七里御浜防風林 GG（グリーン・グロー）作戦」を紀宝町から熊野市までの七里御浜海岸沿いで展開しました。

同協議会では、松食い虫被害や塩害などで松枯れが進み、防風機能が低下しつつある状況にある七里御浜国有林を守ろうと、毎年植樹活動を続けています。今年は、熊野管内の3か所（熊野市・御浜町・紀宝町）の七里御浜で行われ、紀宝町ではウミガメ公園北側の国有林に、クロマツ50本が参加した約60人の手によって丁寧に1本ずつ植樹されました。

Town topics  
2/15

01. 松の植樹の仕方について説明する三重森林管理署の藪内さん。02. クロマツを1本ずつ丁寧に植樹する参加した子どもたち。



## 各機関と連携し、災害に備える 全国初「タイムラインの連携に関する協定」を締結

町は2月21日、「台風等風水害に備えた事前防災行動計画（タイムライン）の連携に関する協定」を、町と近畿地方整備局紀南河川国道事務所、中部地方整備局紀勢国道事務所、津地方気象台の4機関で締結しました。

この協定の締結は、全国初となるもので、今後は、各機関の専門的な情報が迅速に得られることで、減災に向けた、早めの対応につながる事が期待されています。

締結式のあと、まなびの郷で、「防災フォーラム in きほう」が開催されました。

このフォーラムでは、今後、巨大地震や巨大台風などの災害から、自分自身や家族、地域を守るためにはどうすればいいかを考えてもらう機会として開催されたもので、地域住民ら約200人が参加しました。

第1部では、国土交通省近畿地方整備局の森昌文局



01. 署名後に握手を交わす西田町長ら。02. まなびの郷きらめきホールで行われた「防災フォーラム in きほう」。03. 5人が登壇したパネルディスカッション。04. 第1部で講演した国交省の森局長。

Town topics  
2/21



長による講演「災害に強い地域づくり」と、紀宝町防災行政総合アドバイザーであるCeMI環境・防災研究所の松尾一郎副所長による講演「大災害から命を守る」が行われました。

第2部では、松尾さんがコーディネーターを務め、「災害に強いまちづくり・人づくりを考える」をテーマに、近畿地方整備局の黒川純一良河川部長、気象庁津地方気象台の草野富二雄台長、三重テレビ気象キャスターで気象予報士の多森成子さん、飯盛地区自主防災会の金田洋三会長、西田町長ら5人がパネリストとして、めまぐるしく変わる自然環境とどう向き合い、災害に向けてどう対策をとっていくべきかなど、それぞれの立場から考えが述べられました。

長年にわたる活動の功績が認められ

## 門さんと疋嶋さんに消防庁長官表彰

町消防団第2分団長の門賢さんと同副分団長の疋嶋俊博さんが、平成26年度消防庁長官表彰の永年勤続功労章を受章し、3月10日、役場で伝達式が行われました。

門さんは昭和62年1月の入団以来28年以上、疋嶋さんは昭和60年1月の入団以来30年以上の長きにわたり職務に精励され、施設点検や団員の教育指導など、その勤務成績が優秀であり、他の模範であることが評価され受章となりました。お二人は受章に際し、「町民、先輩、関係者のみなさんのおかげです」と感謝していました。



表彰された疋嶋さん（左）と門さん

Town topics  
3/10



01



02

Town topics  
3/3

01. 新しく建て替えられた  
讃寿荘。02. 多目的室で行  
われた竣工式の様子。関係者  
ら約40人が参加しました。



03



04



05



06

鵜殿老人クラブの活動拠点が老朽化で建て替え

## 鵜殿老人憩の家「讃寿荘」が完成!!

鵜殿老人クラブ「讃寿会」が活動拠点にしている「鵜殿老人憩の家『讃寿荘』」の建て替えが終わり、3月3日、竣工式が行われ、東駿会長や西田町長らがテープカットを行い、完成を祝いました。

讃寿荘は、昭和49年の完成から築後約40年が経過し、老朽化が進み、耐震性にも不安があったため、「みえ森と緑の県民税町交付金」の助成を受け、総事業費は6,103万6千円で建て替えられました。地元木材をふんだんに利用した木造平屋建てで、述べ床面積は約211㎡。多目的室(36帖)や和室(10帖と8帖)、調理室、リラクゼーションルームなどが備えられています。



07

03. 調理室(20帖)。04. 玄関。  
05. 多目的室(36帖)。06. 和室(10  
帖)。07. 完成した讃寿荘の前でテー  
プカットを行いました。

特殊詐欺などの被害を未然に防ぐため

## 詐欺抑止装置20台を引き渡し

紀宝町は、振り込め詐欺などの電話を使った特殊詐欺に効果があるとされる詐欺抑止装置「振り込め詐欺見張隊」20台を購入し、2月19日、貸し出し窓口となる紀宝警察署に引き渡しました。

全国的に増え続ける特殊詐欺の被害拡大を防止するために購入したこの装置は、電話機とつなぐことで、着信前に「振り込め詐欺などの被害防止のため、会話内容が自動録音されます」とアナウンスを流し、被害を未然に防ぐものです。町が、三重県消費者行政活性化基金を活用して購入しました。署では、2か月の期間をめぐり、希望者に無料で貸し出します。

西田町長から装置を手渡された片岡署長は、「自主防犯意識高揚のため活用し、特殊詐欺の未然の防止を図っていきたい」と謝辞を述べていました。

Town topics  
2/19



01



02

01. 西田町長から片岡署長に装置が引き渡される。02. 引き渡された詐欺被害防止が期待される詐欺抑止装置。



01



02

第2回芸能フェスティバルを開催

## 19 団体が見事な芸能を披露する

紀宝町文化協会は3月1日、まなびの郷で第2回芸能フェスティバルを開催しました。日本舞踊や詩吟など19団体が日ごろの練習の成果を発表しました。

大正琴の「風雅」がオープニング演奏として「東京ラブソニー」と「まつり」を披露し、その後、鵜殿ばやし保存会子ども会のほか、詩吟や詩舞、社交ダンス、日本舞踊など、各団体ともに見事なステージを披露しました。訪れた人たちは、各種団体の発表に大きな拍手を送っていました。

Town topics  
3/1



03

01. 讃寿会レクダンスサークル。02. 鵜殿ばやし保存会子ども会。03. 三音会。04. 友茂会。05. 大正琴風雅。06. ももの会。07. 亀甲会。08. 社交ダンス。09. 日本民謡くろしお会。10. 鵜殿剣詩舞道会。11. 鵜殿レクダンスサークル。12. 若葉会。



04



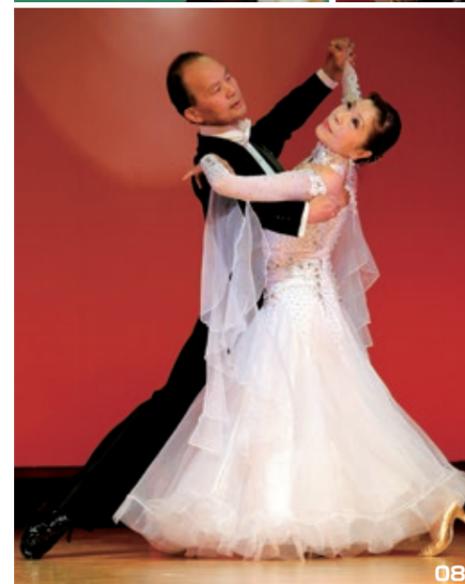
05



06



07



08



09



10



11



12



まなびの郷企画実行委員会主催  
**町民参加のミュージカル「星の王子さま」を上演**

まなびの郷企画実行委員会は3月15日、まなびの郷で町民参加型のミュージカルファンタジー「星の王子さま」を上演しました。

公演は2部構成で、第1部はクリステル・チャリさんが「星の王子さま」の見どころを紹介したほか、第2部では、紀宝町民14人が出演したサン・デグジュペリの「星の王子さま」を題材にしたミュージカルが上演されました。町民らは、妖精や「バラの花たち」を演じたり、コーラスに参加したりして、劇を盛り上げていました。



01.クリステル・チャリさん(右)とともにコーラスに参加した町民ら(左3人)。02.妖精を演じる子どもたち。03.星の王子さま

Town topics  
3 / 15

地域医療に多大な貢献

**二村医師に地域医療貢献奨励賞**

一般財団法人住友生命福祉文化財団が主催する「地域医療貢献奨励賞」を紀宝町顧問の二村昭医師が受賞しました。

これは、地域医療に多大な貢献をした医師を顕彰するもので、今年度は全国で6人が受賞し、その授賞式が2月21日、東京の都市センターホテルで開かれました。

二村医師は、三重県熊野保健所長を経て、昭和63年から紀宝町に奉職。相野谷診療所長をはじめ町特別参与に就任するなど、紀宝町における医療の確保と向上および町民の健康福祉の増進に寄与されました。



地域医療貢献奨励賞の受賞者と関係者ら(二村医師は前列中央)

相野谷中1年生が阪松原を訪れ

**地域の文化に触れ、住民と交流**

相野谷中学校の1年生15人が2月23日、阪松原生活改善センターで、餅つきや寿司作りを通して地域住民と絆を深めました。

これは、地域の文化に触れ、互いの交流を深めようと10年以上前から毎年取り組まれているもので、今年は地域の高齢者ら約40人が集まりました。この日は昔ながらの石臼と杵を使って餅つきをしたほか、サンマ寿司や餅の上にあんをのせた「べったらもち」などを作りました。

料理が完成したあとは、全員が一堂に会し、テーブルを囲んで食事をして、楽しいひとときを過ごしていました。



べったらもちの作り方を習う生徒ら



スポーツや地域のふれあいの場として  
**深田スポーツ交流センターが完成!!**

深田運動場に隣接する屋内遊戯施設「深田スポーツ交流センター」がこのほど完成し、3月11日、竣工式が同センターで行われ、西田町長や西村喜久男議長らがテープカットを行い、完成を祝いました。

同センターは、木造平屋建てで延床面積は251.47㎡。遊戯場をはじめ、脱衣所やシャワールーム、ウッドテラスなどが設置されており、「森林加速化・林業再生基金事業」の助成を受け、総事業費は5,283万円建てられました。スポーツの合宿などの利用に適するほか、土日の日中には無料開放され、年齢問わず遊び場としても利用できます。

また、同施設の前には、複合遊具が設置された深田公園も整備され、今春中には利用可能となります。



01.遊技場。02.大里に完成した深田スポーツ交流センター。03.複合遊具が設置された深田公園。04.完成を祝いテープカット。

Town topics  
3 / 11



01.植樹祭に参加したみなさん。02.約1.5mのサクラの苗木を植樹しました。

熊野さくらの会が植樹祭を開催

**サクラの植樹を通して、世代間交流図る**

NPO法人・熊野さくらの会は3月15日、北檜杖にある標高約300mの山林、通称「さくら山」で、「植樹祭2015」を開催しました。

植樹祭は、サクラの名所を作るほか、世代間交流を進めようと同会が13年前から毎年この時期に行っているもので、今年も約100本のサクラの苗木を植えました。サクラの種類は、ヨウコウザクラ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、ソメイヨシノの4種類で、この日参加した会員など約70人が、苗木が倒れないよう固定しながら丁寧に植樹していました。

Town topics  
3 / 15



やぐまいろは  
**矢熊 彩花** ちゃん (神内)

平成24年4月12日生まれ  
陸さん&日向子さんの長女

おしゃべりでプリキュアが大好きないろはちゃん。いつもパパとママを楽しませてくれてありがとう。ごっこ遊びも上手で、こちらのセリフまで全部指定してくれてとってもおもしろいよ。これからもその世界観を大切に大きくなってね♪…お母さんから



なかおはると  
**中尾 逢斗** くん (鵜殿)

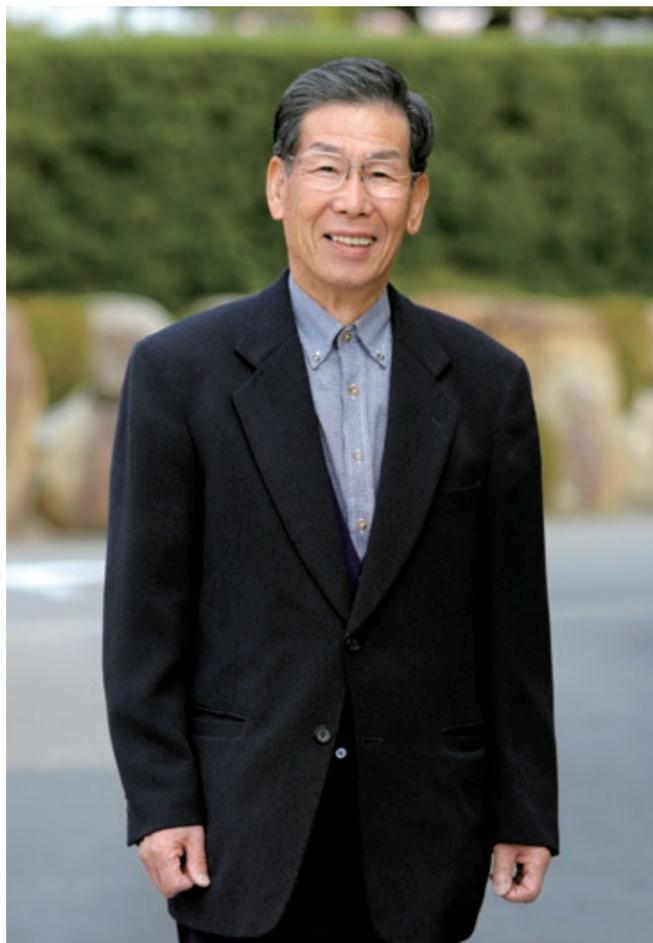
平成24年4月27日生まれ  
涼さん&亜理沙さんの長男

こんにちは。トラックが大好きなはるとです。いつもみんなを笑わせてくれるし、弟の碧斗と遊んでくれてありがとう。これからも元気でやさしい笑顔いっぱいのはるとでいてね♪生まれてきてくれてありがとう♡はると大好き♡…お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(平成24年6・7月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は4月30日(木)まで。

趣味三昧の日々

福本 稔夫 さん(鵜殿)



私は鵜殿に来て、早くも50年が過ぎました。その間多くの人にお世話になり、助けられ、また多くの友人もできました。その中には趣味を同じくする人も大勢います。

は子どもにも買ってもらったタブレットで、本を読んだり、タブレットで検索してから図書館で借りたりして読んでいます。そして読むことに感動しています。次に『ゴルフ』も楽しみのひとつです。ゴルフの良いところは、人脈が広くなり、いろいろな職

PROFILE

ふくもと としお さん

4年前まで、53年間、大工一筋で活躍されていた福本さん。「これからは、夫婦で旅行や家庭菜園など、一緒に楽しんでいきたいと思えます」と話していました。



業の人とまわることができからです。それぞれハンデーがあり終わってからの反省会も楽しみのひとつです。しかし、ゴルフはある程度の年齢に達すると否応なしに辞めざるを得なくなるでしょう。その日まで、青い芝生の上をクラブを手に、まだまだ歩きたいと思っています。

もつひとつの趣味は『書道』です。以前から教えてくれるところを探していたところ、まなびの郷で募集しているのが目にとまり早速入らせていただき、早くも5年がすぎました。書道は年齢に関係なく老後も続けていけますので頭の体操にもいいかと思っています。

教科書の表紙に「段級位受けるだけが書道じゃないよ、習字教室の目的は、筆の練磨を通して美しい日本人を育てるところ」とあります。教室では木山聡美先生に親切丁寧に教えていただいている

のですが、何しろ70歳の手習いですから思うようには書けません。もう1人の先生は紀南高校の一般聴講生として1年間海上先生に教えていただきました。今でも先生の展示会があると見学に行っています。

鵜殿教室では楷書が基本と書くことで、しばしば楷書を書いていたのですが、最近行書も書いて毎月提出しています。筆を持ってみて思うことは昔の人の筆使いに感心することばかりです。中々教科書通りには書けません。今年も教室の皆さんと和氣あいあいといろんな文字に挑戦していきたいと思っています。

5月号は井田の木山聡美さんです。福本さんからは、「若くて元気な『まなびの郷書道教室』の先生です。これからもよろしくお願いします」

地元に戻ってきてよかった!!

東 智代 さん(井田・23歳)

◆お仕事は?

栄養士をしています。今は、紀南病院で、患者さんの食事のチェックや盛り付けなどを行っています。

◆趣味は?

音楽のライブに行くことです。韓国のグループ「BIGBANG」の大ファンなんです。他には、冬にはスノーボードに行ったり、夏には鮎釣りもしています。

◆旅に行くとしたら?

アメリカのディズニールランドに行ってみたいです。

◆理想のタイプは?

BIGBANGのTOPがタイプです。クールに見えるけど、中身はおちゃめでかっこいい人なんです。

◆夢は?

早く結婚して、幸せな家庭を築いて、子どもをスポーツマンに育てたいです。

◆町の好きなところ

全部好きです。人があたたかいし、やさしい。4年間大学で名古屋に行っていました。地元に戻ってきてよかったなと思います。





## 4月号

### 町の人口 - population -

平成27年2月末現在(前月比)	
人口	11,613 (-26)
男	5,460 (-13)
女	6,153 (-13)
世帯	5,374 (-4)
	(外国人を含む)

### 主な電話番号 - telephone -

役場総務課	(33)0333
役場企画調整課	(33)0334
役場総務課(防災対策)	(33)0335
役場産業建設課	(33)0336
役場税務住民課	(33)0337
役場環境衛生課	(33)0338
役場福祉課	(33)0339
役場出納室	(33)0340
教育委員会	(33)0341
議会事務局	(33)0342
役場環境衛生課(水道)	(33)0343
地域包括支援センター	(33)0175
保健センター	(32)3700
相野谷診療所	(34)0011
鶴殿図書館	(32)4646
まなびの郷	(32)0241
神内福祉センター	(32)2023
鶴殿福祉センター	(32)0957
子育て支援センター	(32)4388
熊野自殺防止センター	05979-2-2277
【毎週金・土曜日 午後7時から11時まで】	
防災行政無線(フリーダイヤル)	0120-334-119
おかけ間違いのないように!	



今月のワンコ

ふく

### 食改協の会員 養成講座を開催

町は、食生活改善推進協議会の会員を養成する講座(栄養教室)を次のとおり開催します。

同協議会は、子どもからお年寄りまで幅広く、食事を通して健康づくりを広めることを目的に組織されています。

この講座には、ボランティア活動に意欲のある18歳以上の住民の方なら、男女問わず参加していただけます。この機会にぜひご参加ください。

【日程】 4月22日(水)、5月20日(水)、6月17日(水)、7月15日(水)、9月16日(水)、10月21日(水)、11月18日(水)の計7回。うち5回以上受講することが条件。

【時間】 午前9時30分から午後2時30分まで

【内容】 栄養、食品衛生、糖尿病・高血圧予防の食事についての講話や調理実習

【場所】 保健センター

【参加費】 毎回300円(食料費)

【申込期限】 4月17日(金)まで

▼詳しくは、保健センター(☎32-3700)までお問い合わせください。

### 三重県最低賃金が 時間額753円に改定

三重県最低賃金は、平成26年10月1日から、「時間額753円」になりました。

この最低賃金は、年齢・雇用形態(パート・アルバイトなど)を問わず、三重県内で働く全ての労働者に適用されます。なお、特定の産業に該当する事業場で働く労働者には、三重県最低賃金とは別に、産業別最低賃金が定められています。

### 熊野水軍子供太鼓 新期生募集

熊野水軍子供太鼓は、新期生を募集します。みんなで楽しく太鼓を演奏してませんか。まずは、見学からでもいいので、お気軽にお声掛けください。

【募集対象】 町内の小学3～6年生

### スポーツ安全 保険について

【練習日】 毎週金曜日 午後7時から9時まで

▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

スポーツ安全保険は、スポーツ安全協会が契約者となり、加入手続きを行った5名以上の社会教育関係団体の構成員を被保険者として、保険会社との間に、傷害保険、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険を一括契約した補償制度です。

【加入対象】 スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動を行う社会教育団体

### 【保険期間】

4月1日～翌年3月31日(年度途中での加入可)

### 【加入依頼書設置場所】

紀宝町教育委員会  
▼詳しくは、(財)スポーツ安全協会三重県支部(☎059-372-8100)までお問い合わせください。

### 監査委員の 選任について

2月17日に開催された平成27年第1回紀宝町議会臨時会において、町議会議員から選ばれた監査委員として、山本精一氏が選任されました。任期は、平成27年2月17日から議員の任期平成31年2月9日までとなります。

### ご存知ですか? 就学援助費制度

就学援助費制度とは、経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒について、学用品や学校給食費、修学旅行費などの一部を援助する制度です。

### まどぐち国民年金

### ◆加入手続きは 年金手帳を忘れずに

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入することになっています。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入されている方や、厚生年金保険や共済組合に加入されている方に扶養されている配偶者の方は、勤務先で手続きを行っていただけますが、厚生年金保険や共済組合に加入されていない自営業者、学生、フリーター、無職の方などは、ご自身で住

所地の市町村役場で加入手続きを行っていただく必要があります。

国民年金の加入手続きは、基礎年金番号を記入する必要があります。窓口にお越しの際は、忘れずに年金手帳または基礎年金番号のわかるもの(納付書等)と印鑑をお持ちください。また、国民年金保険料の猶予・免除申請も同様に上記のものが必要となります。

▼詳しくは、税務住民課国民年金係(☎33-0337)までお問い合わせください。

4月の尾鷲年金事務所職員による年金相談は、4月15日(水)午前10時から午後2時まで、役場2階小会議室で行いますので、ご利用ください。

### 森林に関する 届け出について

森林を伐採・取得する場合、森林法の規定により届け出が必要で、届け出をしなければならず、虚偽の届け出をすれば、罰則の対象となりますのでご注意ください。

### ◆伐採する場合

森林を伐採する場合、森林資源の状況を把握しつつ、伐

採後の造林施策が適正に行われるようにするために、所有者や伐採面積に関わらず、事前に市町村への届け出が必要で、

### ◆取得した場合

山林を購入したり、相続するなど、森林の土地を新たに取得した場合、森林の土地所有者を行政が把握することで、効率のよい森林整備を推進するために、取得方法や土地の面積にかかわらず、事後に市町村への届け出が必要です。

▼詳しくは、役場産業建設課(☎33-0336)までお問い合わせください。

### 今月(4月)の 「紀の宝みなと市」

【日時】 4月18日(日) 午前9時～12時

### 【場所】 鶴殿港

▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

### 人事異動

町は、平成27年2月28日付けで、人事異動を行いました。【退職】 西大喜(産業建設課)

### 広報きほうに広告を掲載しませんか

町では、「広報きほう」のこの位置に有料広告を掲載しています。みなさんの会社やお店の宣伝にご利用ください。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

	広報きほう
大きさ	1 枠 縦 45 <sup>cm</sup> × 横 86 <sup>cm</sup>
掲載料	1 枠につき月額で、 町内事業者 7,000 円 町外事業者 10,000 円

地域に貢献してみませんか? (60歳~)

## 紀宝町シルバー人材センター

# 会員募集

草刈り、みかん獲り、家の掃除、墓掃除などができる方

☎ 0735-32-1212

## 紀宝町下水道サービス株式会社

浄化槽のご相談は  
フリーダイヤル  
0120-620-690

紀宝町鶴殿1375番地1  
TEL: 0735-33-0360 (代)  
FAX: 0735-33-0365  
HP: http://www.pfi-kiho.jp/

有料広告

# 今昔物語

その16

## 矢渕の桜並木

鶯殿地区



大正時代

写真提供：まなびの郷



現在

暖かい気候となり、町内のいたるところで桜が咲いています。今回は、鶯殿地区の「矢渕の桜並木」の写真を紹介します。

この写真は、大正時代に撮影されたもので、写真中央には整備された道があり、その脇には桜が植えられ、きれいに咲き誇っているのが確認できます。

写真中央の道は、このころはまだ県道で、後に現在の国道42号となります。しかし、山の位置から判断してみると、若干位置は変わり、現在の道は写真右の川沿いになるかと思われ、また、昔の道は、現在の矢渕中学校のグラウンドのあたりになるかと思われれます。

現在も国道42号沿いには桜が植えられており、とてもきれいですが、当時もこの季節、矢渕の桜は人々の心を癒していたのでしょうか。

### — 昔の風景写真を募集します —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限る、受け付けさせていただきます。このコーナーで紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

# ひょうたん

## 広報きほうを卒業します

今月号をもちまして、私、竹鼻康は、広報きほうの担当を卒業することになりました。

平成21年から6年間。みなさんに読んでもらい、毎月楽しみに待っていただけのような広報が作りたくて、毎月がむしゃらに、6年間ずっと突っ走ってきました。僕は公務員なので異動はつきものです。だからわかってはいるのですが、いざ異動となると、やはりさみしい気持ちでいっぱい。もう広報を作ることができない...、もうみなさんの笑顔の写真が撮れない...、もう子どもたちから「やっちゃん」と呼んでもらえない...、そんなことを考えると、さみしくてたまりません。

異動の内示が出た日、帰りにコンビニにいったのですが、本のコーナーで、無意識にレイアウトの参考となる本はないかと探している自分がいました。本に、広報という仕事が好きなんだなと思いました。

広報紙づくりは本当に楽しいことが多いのですが、その反面、同等に苦しいこともたくさんありました。発狂したくなるほど悩むことも多々あり、毎月頭を抱えていましたが、みなさんからの「今月号もよかったよ」「いつも楽しみにしてるよ」といったやさしいお言葉のおかげで、僕はものすごく救われ、元気をいただきました。僕にとってこの6年間は、人生において、決して忘れることのできない、密度の濃い6年間でした。広報を通してみなさんと出会えたことは、僕の人生においてかけがえのない宝物です。

これからは、広報とは違う次のステージで、町民のみなさんのお役にたてるようがんばっていきたく思います。これまで、竹鼻康を応援していただき、本当にありがとうございました。

感謝の気持ちでいっぱい。今後とも「広報きほう」を、応援よろしく願っています。  
(広報を誰よりも愛する 竹鼻康)

